

令和５年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	06700000	経営企画部 秘書広報課		
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	款項目	02	総務費	01	総務管理費	07	市民まちづくり推進費	
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-				目標値	-	
中事業	23	主要な取り組み	—								
小事業	30	広報事業		目標年度	令和6年度						

イン
プ
ット

事業実施の 背景にある課題	市民からの信頼・共感を得るためには、これまでの課題であった出しっぱなし、投げっぱなしの「お知らせ型広報」ではなく、「市民が知りたい情報」と「市民に伝えたい情報」を確実に「伝わる」ものにするための取り組みが求められている。本事業では市民が情報を認知し内容を理解するという「伝わる」ということだけでなく、まちづくりに協力および参画してもらうという「行動」へとつなげていきたいと考える。					
事業目的	(1) 対象 市民 (2) 目的 わかりやすく確かな情報を市民に届け、市民との信頼関係を築くとともに、市政情報がより身近なものと感じられる広報を目指す。					
事業概要	日本語版の広報紙を毎月発行するとともに、SNS等を有効的に活用しながら行政情報を発信する。また、市内の行事等を取材し、日刊紙やWEBメディアへ記事を提供することで、メディアを通じた行政情報の発信も併せて行う。 ・ 広報紙の発行（日本語版を毎月10日に14,800部発行） ・ 日刊紙やWEBメディアへの記事提供 ・ SNS等を活用した情報発信					
事業費（千円）		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	11,343	11,053	10,655	10,907	11,008
	決算額	9,457	9,289	9,500	9,293	
年間の事業に要する時間 （正職員/正職員以外）		2,060 /				1,300

アウト プ ット	活 動 指 標 (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	広報紙アプリ「マチイロ」で「広報みのかも」を登録している人（人）	目標値	1100	1200	1900	2200	2300
		実績値	1181	1898	2171	2483	

アウトカム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	広報みのかもを読んでいる人(%)	目標値	69	70	70	71	71
		実績値	67.9	70.2	66.3	68.3	



実
績

実績	広報紙14,300部/月発行 456頁作成(平均38頁/月) LINE友だち登録 10,246人 X(旧Twitter)フォロワー2,997人 Instagramフォロワー1,796人 YouTube登録者1,440人
効果	広報紙を情報のプラットフォームとして、LINEや広報紙アプリ「マチイロ」、イーブックスなど、さまざまな媒体から広報紙の情報へアクセスできるようになり、市民が知りたい情報を使い慣れた手段を活用して探せるようになったことで、市民の行政情報に対するアクセスが手軽にできるようになった。



評
価
分
析

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	広報紙の情報へアクセスできる媒体としてのアプリの利便性を、広報紙などで広く啓発したことや、アプリに対する市民の慣れが、目標値を上回る結果につながったと考える。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	行政情報は広報紙から得るという考え方ではなくってきているほか、令和5年度はLINEの機能拡張もあり、LINEから情報入手する人が大きく増えたこともKPI未達成の要因と考える。
実績からR06年度の 事業の方向性	昨年度までは広報紙に掲載されている記事をSNSなどで個別に情報発信していたが、広報紙自体の発行情報を発信することは少なかった。そのため、今年度からは、広報紙自体の発行情報をインスタやLINE、youtubeなどのSNSのほか、CCネットやFMらでの市政情報番組で情報を発信し、広報紙の読者数を増加を目指す。

令和５年度 事業評価書

令和5年度 事業計画書				事業主体		06700000		経営企画部 秘書広報課				
会計区分	01	一般会計		款項目	02	総務費		01	総務管理費		06	企画費
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	K P I	-				目標値	-		
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業									
中事業	23	主要な取り組み	—									
小事業	31	地域情報放送事業（定住）		目標年度	令和6年度							

イン
プ
ット

事業実施の 背景にある課題	圏域に暮らす住民は、仕事や買い物などの生活圏が同じであるが、互いの情報を得る手段がなく、圏域内での情報共有が乏しい状態である。単に日常的な情報の共有だけでなく、この地方で発生するといわれている南海トラフ大地震やこの地域でも実際に発生した河川の氾濫などの自然災害が発生した際の情報収集は貴重であり、確かな情報を素早く圏域間で共有する必要がある。					
事業目的	(1) 対象 みのかも定住自立圏域の住民及び企業、団体 (2) 目的 コミュニティFMやケーブルテレビを通して、圏域の誰もが情報を入手できる状態になる					
事業概要	圏域を放送エリアとしているコミュニティFM局やケーブルテレビ局と連携して圏域内の情報に特化した番組制作を行い、圏域内の情報を積極的に発信。圏域内の情報格差を無くすとともに、生活圏が共通する自治体間で日常的に情報を共有できる環境を整備するもの。					
事業費 (千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	45,902	45,347	44,919	43,666	43,684
	決算額	42,510	45,346	44,917	43,661	
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		600 / 300				

アウト プ ット	活 動 指 標 (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	各種広報媒体におけるコミュニティFMやケーブルテレビの周知回数(回)	目標値		32	32	32	32
		実績値		48	37	25	

アウトカム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	コミュニティFM放送やケーブルテレビを通して情報を入手している人の割合（％）	目標値		20	30	35	40
		実績値		27.5	29	29	



実
績

実 績	美濃加茂市で令和5年度に初めての試みとして、コミュニティFM放送とケーブルテレビが連携した番組制作を実施した。 コミュニティFM：各市町村の行政情報やイベント告知などを放送（計451回/1回の放送約15分） ケーブルテレビ：各市町村の情報を映像を通して配信（参考【美濃加茂市の場合】制作本数48本、いずれもYouTubeにも展開・公開した。また、コミュニティFMで実施している市の体操の映像をケーブルテレビでも同時刻に放送した）
効 果	視聴者が番組の視聴方法を選択できるようになり、同じ番組に対して、それぞれの視聴者からのリアクションを確認できるようになったほか、メッセージ等で、番組に参加する視聴者が増加した。



評
価
分
析

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	広報媒体での周知回数は、未達成となった。設定していた活動指標（4回/年）を美濃加茂市は達成しているが、町村が未達成であった。理由としては、町村がそれぞれで発行する広報紙の紙面の都合で新たに本事業をPRするための枠が取られなかったことが挙げられる。そのことから、広報紙以外のイベントでの周知なども視野に活動をしておかなければならない。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	前年度に続き、ほぼ横ばいの状態となった。ラジオについては、新規のリスナーの獲得が大きな課題と考える。また、ケーブルテレビについては、ほぼ加入率と同等の数字であるため、今年度からスタートしたYouTubeでのケーブルテレビ番組の配信など、ケーブルテレビにおいても新たな視聴者の獲得が必要と考える。
実績からR06年度の 事業の方向性	コミュニティFM放送とケーブルテレビが連携して取り組む番組づくりが、今後美濃加茂市においては重要になってくるため、SNSを含むメディア間の連携について、他市の事例等を収集し、研究していく。

令和 5 年 度 事 業 評 価 書

会計区分	01	一般会計					事業主体	06700000	経営企画部 秘書広報課		
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	款項目	02	総務費	01	総務管理費		12	諸費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-				目標値	-	
中事業	23	主要な取り組み	—								
小事業	33	いじめ問題対策連絡協議会費		目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	深刻化するいじめ問題に対し、地域ぐるみの取組を実施し、監視の目を増やすことにより、いじめ発生を未然に防止する必要がある。				
	事業目的	(1) 対象(誰、何を対象にしていますか) 子ども、いじめ防止等に関係する機関や団体 市内に拠点を置く事業所 (2) 目的(具体的な事業のやり方、手順) いじめ防止対策に関し各関係機関との情報を共有し、連携を図ることはいじめを撲滅し、いじめで悩む子どもたちゼロのまち、子どもたちが安心健やかに育つまちの実現を図る。				
	事業概要	いじめ防止等に関係する機関及び団体の連携を図る 市内のいじめの現状について情報共有を図る いじめ防止に関する情報の提供				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	48	77	51	47	47
決算額		0	0	13	0	
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		202 / 90				

実
績



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	広報紙の掲載のみ行ったため、掲載回数が少なくとどまった。			
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	広報紙及び未登録の事業所に呼びかけを行ったため、目標値を達成することができた。			
	実績からR06年度の 事業の方向性	協力事業所を増やすことで、地域ぐるみの取組を実施し、監視の目を増やすことにより、いじめ発生を未然に防止する。			



ア ウ ト プ ット	活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	啓発活動回数(累計回数)	目標値	10	12	14	16	18
		実績値	10	12	14	13	



ア ウ ト カ ム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	いじめ防止協力事業所件数(件)	目標値	35	125	130	135	140
		実績値	116	129	131	136	